

# リセドロン酸ナトリウム錠17.5mg「ケミファ」

## のみ方とご注意

このお薬は**週1回1錠**のむ骨粗しょう症のお薬です。  
(毎日のむお薬ではありません。)

- のみ忘れた場合には、気づいた日の翌朝に1錠をのんでください。  
次からは、あらかじめ決められた曜日にのんでください。
- 同じ日に2錠をのまないでください。
- 胸やけなどを感じた場合には、すぐに主治医または薬剤師にご相談ください。
- 歯医者さんで診察を受ける場合は、必ずこの紙を見せてください。**  
(歯科・歯科口腔外科の先生方へ:本剤はビスフォスフォネート系薬剤です)

毎週1回、決められた曜日に  
1錠を下記の手順でのんでください。

---

- 朝起きたら(食事の前に)1錠をコップ1杯(約180cc)の水水道水かぬるま湯でのんでください。
- のんでから少なくとも30分間は、水以外の飲食はせず、他のお薬ものまないでください。
- のんでから少なくとも30分間は、横にならないでください。
- このお薬をかんだり、口の中で溶かしたりしないでください。

# リセドロン酸ナトリウム錠17.5mg「ケミファ」 を服用される患者様へ

## のみ方とご注意

このお薬は**毎日1回1錠8週間**のむ  
骨ページェット病のお薬です。

- のみ忘れた場合には、翌日の朝に1錠をのんでください。  
ただし、食べ物、飲み物を口にしていない場合、他のお薬を  
のんでいない場合には、すぐおのみください。
- 同じ日に2錠をのまないでください。
- 下記のような症状や異常を感じた場合には、すぐに主治医または  
薬剤師にご相談ください。
  - ・食べ物のみ込みにくい、のみ込むときにのどが痛い、胸に  
痛みを感じる など
  - ・体がだるい、力が入らない、食欲不振、発熱、皮膚や白目が  
黄色くなる など
  - ・あごの痛みやしびれ・だるさ、歯ぐきのはれ、歯のぐらつき  
など
- 歯医者さんで診察を受ける場合は、必ずこの紙を見せてください。**  
(歯科・歯科口腔外科の先生方へ:本剤はビスフォスフォネート系薬剤です)

**毎日1回1錠8週間、下記の手順でのんでください。**

- 朝起きたら(食事の前に)1錠をコップ1杯(約180cc)の水道水か  
ぬるま湯でのんでください。
- のんでから少なくとも30分間は、水以外の飲食はせず、他の  
お薬ものまないでください。
- のんでから少なくとも30分間は、横にならないでください。
- このお薬をかんだり、口の中で溶かしたりしないでください。

 日本ケミファ株式会社  日本薬品工業株式会社

- |  |  |
|--|--|
| <input type="radio"/> アクトネル錠                 | <input type="radio"/> ボンビバ(静注・錠)               |
| <input type="radio"/> ダイドロネル錠                | <input type="radio"/> リクラスト点滴静注液               |
| <input type="radio"/> フォサマック錠                | <input type="radio"/> アレンドロン酸ナトリウム<br>(錠・点滴静注) |
| <input type="radio"/> ベネット錠                  | <input type="radio"/> ミノドロン酸錠                  |
| <input type="radio"/> ボナロン<br>(錠・経口ゼリー・点滴静注) | <input type="radio"/> リセドロン酸ナトリウム錠             |
| <input type="radio"/> ボノテオ錠                  | <input type="radio"/> ソレドロン酸点滴静注液              |
| <input type="radio"/> リカルボン錠                 | <input type="radio"/> パミドロン酸二Na点滴静注用           |
| <input type="radio"/> ソメタ点滴静注                | <input type="radio"/> その他                      |

年 月 日から **ビスホスホネート系薬剤**  
( 年 月 日まで) を使用しています

### 歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。

- 顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがあるので、拔牙等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の要否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

S-2307  
2018年6月改訂

歯科・口腔外科を受診する場合は  
このカードをご提示ください

私はビスホスホネート系薬剤による  
治療を受けています

病院名・薬局名(連絡先)

### これからこの薬剤で 治療される患者さんへ



- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり拔牙などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

### この薬剤で治療中の患者さんへ

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- 定期的な歯科検査を受けてください。
- 拔牙などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。



- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

- あごの痛み
- 歯のゆるみ
- 歯ぐきの腫れ など